重要な会計方針

１.資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式及び関連会社株式……　移動平均法による原価法

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品及び製品、原材料、仕掛品……総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）

貯蔵品…… 最終仕入原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）

２.固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産 ……　平成19年３月31日以前に取得した有形固定資産

旧定率法

ただし、平成10年４月１日以降に取得した建物（附属設備を除く）については旧定額法を採用しています。

平成19年４月１日以降に取得した有形固定資産

定率法

ただし、建物（附属設備を除く）については定額法を採用しています。

(2) 長期前払費用 ……　均等償却

３.引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金の計上基準

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しています。

(2) 賞与引当金の計上基準

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額の当事業年度負担額を計上しています。

(3) ポイント引当金の計上基準

顧客の購入実績に応じて付与するポイント制度に基づき、将来のポイント使用による費用の発生に備えるため、過去の実績を基礎にして当事業年度末において将来使用されると見込まれる額を計上しています。

４.その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の処理方法

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

(2) 連結納税制度の適用

株式会社ＴＳＩホールディングスを連結納税親法人とする連結納税子法人として、連結納税制度を適用しています。

当期純損益金額

第 54 期（平成 27 年３月１日から平成 28 年２月 29 日まで）の当期純利益は、445 百万円であります。